

ICT・ロボット・AIを活用した放牧技術による生涯生産性向上を可能とする乳用牛の育成技術の開発

ICT・ロボット・AIを活用した次世代型放牧技術開発コンソーシアム
 東京理科大学、(株)NTTドコモ、鹿児島大学、岩手大学、農研機構畜産研究部門、鹿児島県畜産試験場、鹿屋市鳴之尾牧場
 研究代表：竹村 裕 Hiroshi TAKEMURA (東京理科大学 理工学部 機械工学科 准教授)

農林水産省「革新的技術開発・緊急展開事業」(経営体プロ)に採択!

研究の概要

研究実施期間：平成29～31年度(3年間)

新たな放牧育成技術体系が必要～乳用牛の生涯生産性向上の実現に向けて!

■放牧メリットの発揮

- 運動・日光・生草による健強性
- 省力化・軽労化・低コスト化
- ストレス低減による健全性

両立を
可能とする技術

■放牧デメリットの解決

- △コスト(預託、牧場運営)
- △育成技術(発育・増体)
- △管理技術(事故防止・疾病管理)

ICT・ロボット・AIを活用した生涯生産性向上を可能とする乳用牛放牧育成技術の開発

